

特集 食卓を笑顔にする市内の果樹

秋を前に、梨やぶどうなどの果樹が旬を迎えています。かすみがうら市は果樹の生産が盛んで、スーパーマーケットや直売所などに市産の果樹が販売され、食卓へ届けられています。市内の生産者が心を込めて育てた果樹は、甘さとみずみずしさだけではなく、愛情がたっぷり含まれています。

農林水産課（霞ヶ浦庁舎）



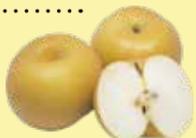
茨城県は、全国トップクラスの梨の名産地で、千葉県に次いで全国第2位の生産地です。江戸時代から梨栽培の歴史があり、日本で最古の梨産地のひとつです。かすみがうら市は、昼夜の寒暖差が程よい気候と、豊かな水、恵まれた土質が、梨の栽培に適しています。市内では、幸水、豊水、新高、あきづき、にっこりの他、茨城県オリジナル品種の「恵水」など、さまざまな品種の梨を、11月上旬まで楽しむことができます。

特徴

梨はみずみずしさとシャリ感が特徴で、ナトリウムとカリウムが比較的多く含まれ、さらにアンモニアを体外に排出するアスパラギン酸も含まれるので、利尿作用があり、体内の代謝をうまく整えてくれる果物です。

品種

- 幸水**：果汁がたっぷりで甘味が強い
- 豊水**：甘味と酸味のバランスが良い
- 新高**：大玉で上品な甘みと香り
- あきづき**：シャキシャキ歯ごたえと甘味
- にっこり**：平均果重 800g を超える大きさ
- 甘太**：大玉で高糖度と程よい酸味
- 恵水**：糖度は平均 13 度以上で酸味が少ない



茨城県オリジナル

おいしい梨の見分け方

左右の形が整って、皮に傷がなく、ずっしりと重みがあり、果皮に色むらが無いもの

市内の生産や出荷状況などを聞いてみました！

JA 水郷つくば千代田支店 営農経済課 床枝将人さん
千代田地区梨部会は 65 人の生産者で構成され、7 月下旬から 11 月上旬まで出荷を行っています。幸水や豊水をはじめ、あきづき、恵水、新高、甘太、にっこり、王秋、秋峰、新興と多くの品種を生産し、東京や横浜、静岡、東北、北海道などの市場に、年間約 1,000 トンを出荷しています。

JA 水郷つくば霞ヶ浦支店 営農経済課 和田連さん
霞ヶ浦地区梨部会は、18 人の生産者で構成され、8 月上旬から 9 月中旬まで出荷を行っています。幸水や豊水、あきづき、恵水、新高を生産し、東北や長野、東京の市場に、年間約 200 トンを出荷しています。

JA 水郷つくばでは、各部会の生産者と連携し、技術の向上や販路の確保などを進めています。生産者が愛情を込めて育てた梨を、ぜひ味わってみてください。

JA 水郷つくば千代田支店 ☎ 0299-59-3501 ・ 霞ヶ浦支店 ☎ 029-897-0583



茨城県は、「巨峰」を中心に栽培されていますが、「ロザリオ・ビアンコ」などの欧州系のぶどうも普及し、中でも最近話題の「シャインマスカット」は、その名のとおり輝くような緑色で、さわやかな甘さと上品なマスカットの香り、また、皮ごと食べられる手軽さがかうけて、大人気となっています。

市内では、巨峰を中心に、シャインマスカットの生産も増えてきています。

特徴

ぶどうは栄養が豊富で、欧州では「畑のミルク」と表現されるほど。ブドウ糖や果糖などの糖質が多く含まれ、疲労回復の効果が望めます。また、黒や赤系の皮には、動脈硬化を予防し、目の疲れにも効果があるとされるポリフェノール一種アントシアニンも豊富に含まれる果物です。

品種

- 巨峰**：ぶどうの王様ともいわれ、濃厚な甘さの中にも、少し酸味のある絶妙なバランスが、幅広い世代に人気。
- シャインマスカット**：大粒で糖度が高く、ボリューム感があり、外観、品質に優れている。皮が薄く、渋味が少ないという特長に加え、種無しにすることで、丸ごと食べられるため、人気が高い。

おいしいぶどうの見分け方

- 軸**… 緑色で太くしっかりしている
- 実**… 粒に張りがあり、大きさがそろっている
- 皮**… 黒系と赤系は色が濃く、黄緑系は色が鮮やかなもの房の上側（軸の方）から成熟が進み、未熟な時は上側が甘く、下側（先の方）の甘みが少ない。成熟が進むにつれて下側の糖度が上側に追いついていく。

市内の生産や出荷状況などを聞いてみました！

JA 水郷つくば千代田支店 営農経済課 町井憲治さん
巨峰部会は 14 人の生産者で構成され、千代田地区は、約 20 年くらい前までは出荷を JA 水郷つくばで行っていましたが、現在は、市内全域で生産者個人が直売や市場出荷を行っています。市内の生産は、巨峰が主ですが、人気が高いシャインマスカットの生産も増えてきています。

JA 水郷つくばでは、生産者への栽培指導などを中心に行っています。旬を迎えた市内のぶどう園では、芳醇な香りに包まれ、摘みだすのぶどうを、味わうことができます。

おいしい梨になるよう大切に育てました

生産者の声

JA 水郷つくば千代田梨部会 部会長 糸賀 和則 さん

【就農したきっかけ】結婚して梨農家の糸賀家に入り、15 年間は会社勤めでしたが、会社を辞め、3 代目として農業を始めました。2 代目の作業を見ながら梨栽培のノウハウを学び、また、他の生産者からも技術を学び、約 20 年生産を続けています。



【梨栽培の魅力】会社勤めと違い、時間を自由に使い、やればやった分が成果につながることです。

【栽培のこだわり】これまで培った技術や経験に加え、他の生産者の優れた技術を積極的に取り入れるようにしています。また、出荷は、積算温度で予定を立て、市場に出るタイミングを見越して、ひとつひとつしっかりと選果しています。今年は天候にも恵まれ、ずっしりと大きな梨が実ってくれました。おいしい梨を皆さんに届けることができそうです。

【部会の活動】摘果や選定の技術的な講習会の実施や班ごとに梨畑の見回り会を実施している他、情報交換の場として今年の状況などの確認をしています。

糸賀さんは、自宅で選果や箱詰めする生産者の負担軽減のため、選果場への出荷について JA や生産者と協議。「今年から選果場へ出荷できるようになりました」と話してくれました。



技術を広めてみんなでスキルアップを目指す



JA 水郷つくば霞ヶ浦梨部会 部会長 塚本 浩之 さん

生産者の声

【就農したきっかけ】親が農業に従事していたため、子どもの頃から後を継ぐものと思っていました。学校で農業や園芸を学び、実家の農業を 20 歳から始めました。現在では、息子も同じ道を歩み始め、家族で協力して生産に励んでいます。

【梨栽培の魅力】愛情を込めれば込めるほど、梨が答えてくれることです。

【栽培のこだわり】大玉にする栽培技術として、花芽の数を制限し、少なく咲かせた花に確実に受粉を行います。また、果実が成り過ぎないように、花が咲く前に多目的ネットを設置し、ミツバチなどの侵入を防ぐようにしています。

【部会の活動】梨の栽培に関する講習会などの実施や会員同士でさまざまな技術を教え合い、部会全体として底上げし、選果組合としての評価を高める活動を行っています。



塚本さんは、作業効率を上げる工夫として、ハウスカーを利用した特製の収穫台車を考案。「台車のおかげで、これまでの収穫かごによる肩や腰への負担から解放され、作業効率が大幅に向上しました」と話してくれました。

おいしさの秘訣はまごころと丁寧に育てること

生産者の声

JA 水郷つくば千代田巨峰部会 部会長 久松 祐之 さん

【就農したきっかけ】親や親戚が農業に従事していたため、20 代後半で会社を辞め、農業を継ぎました。久松家は栗の生産を主で行っていましたが、親戚のぶどう栽培を見た私の親が気に入り、ぶどうの苗を植え始めました。始めは家族や親戚の作業や技術を学び、ぶどうの魅力を知り、生産意欲が高まっていきました。



【ぶどう栽培の魅力】手はかかりますが、かけた分おいしさや甘さとなって答えてくれるところです。

【栽培のこだわり】特別なことをするというよりは、着実に、丁寧に、一年一年積み重ねています。これからは、巨峰やシャインマスカットだけではなく、他の品種も育ててみたいと思い、良い品種があれば、苗を取り寄せ植えています。おいしいぶどうができることとても嬉しいです。

【部会の活動】会員のぶどう畑をみんなで見て回りながら、生育状況などを情報交換する見回り会を行っています。他の生産者の状況も参考になります。

久松さんは、新しい品種の育成を積極的に取り入れて、ぶどうの魅力さをさらに追及。「新しい品種にも挑戦しており、これからの成長がとても楽しみです」と話してくれました。

